

広島ガス 好成績を残す

5月17日(土)～18日(日)にかけて中国実業団選手権大会が岡山県玉野市総合体育館で開催された。

Aブロック第1試合は広島ガスBとcheerful鳥取Aとの対戦だ。シングルス、ダブルスともにストレート勝ちで、まずは1勝を手にした。続いての対戦相手は山陰合同銀行A。ダブルス、シングルともに接戦だったが、惜しくも敗れてしまいAブロックを2位で通過した。

Bブロック第一試合の広島ガスAと岡山ガスBの試合では、シングルス、ダブルスともに勝利した。続いて第2試合ACT SAIKYO Bとの試合では、シングルス平井亜紀選手の棄権というアクシデントがありながらも勝利を手にした。この結果、広島ガスA、Bともに予選リーグ通過を決めた。

広島ガスAはこのままの勢いで決勝まで勝ち上がり、山陰合同銀行Aとの対戦となった。小池温子選手・平井亜紀選手ペアがまずは1勝をし、その勢いのままシングルス井上静華選手が勝利し広島ガスAが優勝となった。総合結果としては広島ガスAが優勝！広島ガスBが3位という華やかな結果となり次に期待できるような大会であった。



第63回黒鷲旗全日本男女選抜 決勝進出

5月1日(木)～5月6日(火)に行われた「第63回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会」。初戦から5戦を全勝で駆け上がり、決勝戦に駒を進めたJTサンダーズはパナソニックパンサーズとの決勝に挑む。奇しくも、4月に閉幕した「2013/14V・プレミアリーグ」優勝決定戦と同カードの再現となった。この一戦に臨む選手たちの思いには並々なぬものがあつた。そして、頂上決戦の幕は切って落とされる。激突する両チームは、第1セットの立ち上がりから引き締まった攻防戦を展開した。第1セットは、JTサンダーズが勝ち取った。

第2セットに入ると、試合の流れは相手チームへと傾いていき、20-25でこのセットを失った。この後JTサンダーズは第3セットを19-25で失うと、第4セットも終始、相手を上回ることなく19-25で落とし、セットカウント1-3でゲームセット。頂点をかけたJTサンダーズの2度目の挑戦は、またも最高峰へは至らなかった。王者の壁を破るには、チームとしてさらなる成長が必要だということを選手たちは2度の決勝戦から身をもって実感したといえるだろう。だが、その表情に悔しさはにじませても、悲観している者はいない。

2013/14シーズンを締めくくるこの大会を振り返って選手たちの口から出てくる言葉は、来シーズンへの期待を確かに感じさせるものだった。経験を通してしか得ること

ファン感謝デー開催！

のできない大きな収穫と課題。その両方を受け止めて、JTサンダーズは次のシーズン、次のステップへと歩を進めていこう。その先にある栄光がもはや届かぬ夢ではないことを、今は確かに信じられるのだから。

各チームの1推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆



コカ・コーラウエスト
レッドスパークス
金藤 祥子

生年月日 1992/11/3
身長 160cm
血液型 O型
出身地 滋賀県

担当者からのコメント

金藤選手が放つ、“シュート”にワクワクします。ゴールラッシュ、期待です！！



ファン感謝デーの様子

5月11日(日)にJTサンダーズ2014シーズンファン感謝デーが広島市南区にある猫田記念体育館で開催された。およそ800人のファン・サポーターが駆けつけた。4つのグループに分かれてトークショーやサイン会でファンと交流。普段では見ることのできない選手たちの表情にファンも大喜びの一日だった。



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダーズ



ワクナガレオリック



広島メイプルレッズ



広島ガス
バドミントン部



NTT西日本広島
ソフトテニスクラブ



中国電力
陸上競技部



コカ・コーラウエスト
レッドスパークス



広島東洋カープ

トップス広島 事務局
〒733-0036
広島市西区観音新町4-10-2

TEL:082-233-3233
FAX:082-233-3251
URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



2014 ひろしまフラワーフェスティバル参加！



二日目に参加した選手たち

5月3日(土)から5日(月)にかけてひろしまフラワーフェスティバル 2014 が行われ、トップス広島もパレードの参加やスポーツ体験コーナーなどのブースを設置し、積極的にファンと交流をした。今年もたくさんの笑顔を見ることができた。ブースではサンフレッチェ広島、広島メイプルレッズ、広島ガスバドミントン部、中国電力陸上競技部の4クラブが参加し、バドミントン、ハンドボール 7m スローなどの体験コーナーやサッカースタジアム建設に関する署名活動などで盛り上がった。3日に参加した広島ガス武田陽子選手は「今回で3回目のパレード参加。毎年違ったもの(趣向を凝らしたもの)で華やかだった。」ふれあい広場での交流では「参加したいという人が多くてうれしい。今後、バドミントンがメジャーになればいいと思います。」とコメントした。4日に参加した広島メイプルレッズの増田寛那選手は、「子供たちはボールを使うことが好きだから、今日のフラワーフェスティバルでハンドボールを知ってもらえたと思う。ただ、毎年体験コーナーをやりたい子供たちは多いが、普段ハンドボールを行う場が増えない。」とコメントした。



ファンとバドミントンをする
小池温子選手と井上春奈選手



スタジアム建設の署名活動を行う
サンフレッチェ広島の選手たち



2年連続 男女アベック優勝！

5月18(土)・19(日)に愛知県一宮市でシングルス日本一を決める「第21回全日本シングルスソフトテニス選手権大会」が開催され、長江光一選手と大庭彩加選手が優勝し、見事2年連続アベック優勝を果たした。村上雄人選手はベスト16で昨年よりも良い成績を残した。昨年優勝した中本圭哉選手は3回戦敗退とまさかの結果になってしまった。

全国から男女合わせて約400名の選手が一発勝負のトーナメントで争うこの大会。長江選手はベスト4を懸けた試合で2ゲームを先制される苦しい展開となったが、そこから4ゲームを連取して逆転勝利。そのまま勢いに乗り、見事自身3回目となる優勝を掴み取った。一方大庭選手は、要所での確かなショットを決め、確実にポイントを獲得。冷静な試合運びで貫録の2連覇を達成した。

また5月25日(日)に行われた中国地区ソフトテニス選手権では、女子で中野優・小林美咲選手ペアが優勝、男子で長江光一選手・中本圭哉選手ペアが優勝し、こちらでも最高の成績を残した。

いざW杯へ！紫の戦士たち、その名を世界に響かせろ！

代表選出が決まり握手を交わす
森保監督と青山選手



日本代表ブラジルW杯予選日程（日本時間）

- ・ 6月15日（日）AM10:00 対コートジボワール代表
- ・ 6月20日（金）AM 7:00 対ギリシャ代表
- ・ 6月25日（水）AM 5:00 対コロンビア代表

5月12日（月）、2014 ブラジルW杯のメンバーが発表された。サンフレッチェから MF 青山敏弘選手が選出された。遠征先のシドニーで選出を知った青山選手は、森保監督やチームメイトと喜びを分かち合った。

青山選手は「自分の名前を呼ばれて、あらためて責任を自覚しています。とても光栄なブラジルW杯に選ばれて、感謝の思いしかありません。支えてくださったすべての方々の思いを持ってブラジルへ行きます。僕はサンフレッチェで育ち、ここまで大きくしていただいたクラブや関係者、監督、チームメイト、サポーターの皆さんに感謝したいです。ブラジルで頑張ってきます！」とコメントした。また、韓国代表に DF のファン・ソッコ選手、日本代表予備登録メンバーに GK 林卓人選手、DF 水本裕貴選手が選ばれた。

紫の戦士たちがブラジルのピッチで躍動することを期待したい。

メイプル・ワクナガ 合同でファン感謝デー

4月29日（火・祝）に湧永レオリックと広島メイプルレッズによる合同ファン感謝デーが、広島県の東区スポーツセンターで開催された。午前中は両チームの選手からの直接指導など、一緒にプレーできるハンドボール教室を行った。午後からは選手たちによる紅白戦が実施された。ファンは憧れの選手たちと一緒に汗を流すことができ貴重な体験になったであろう。

現在両チームとも近シーズンに向けた準備を行っている。昨シーズン優勝を逃した悔しさを晴らすためにも、今シーズンは優勝を目指し、ファンと喜びを分かち合ってもらいたい。

4/26～5/25 トップス広島 試合結果

広島東洋カープ

- 4/26 カープ● 5-11○巨人
- 4/27 カープ○ 3-0 ●巨人
- 5/3 カープ● 4-9 ○DeNA
- 5/4 カープ○ 5-2 ●DeNA
- 5/5 カープ○ 5-2 ●DeNA
- 5/9 カープ○ 3-2 ●中日
- 5/10 カープ○ 13-5 ●中日
- 5/11 カープ● 5-9 ○中日
- ▽セ・パ交流戦
- 5/25 カープ○ 3-1 ●西武

サンフレッチェ広島

▽リーグ戦

4/26 サンフレッチェ広島● 0-3 ○鹿島アントラーズ

5/10 サンフレッチェ広島 1-1 清水エスパルス

▽アジアチャンピオンズリーグ

5/7 サンフレッチェ広島○ 3-1 ●ウエスタン・シドニー・ワンダラー

中国電力陸上競技部

▽第48回織田幹雄記念国際陸上競技大会

グランプリ 5000m 岡本直己選手 12位

一般 5000m

石川卓哉選手 4位

池淵智紀選手 5位

森本卓司選手 7位

藤森憲秀選手 9位

清谷匠選手 10位

NTT 西日本広島ソフトテニスクラブ 第45回中国地区ソフトテニス大会

女子 中野・小林ペア : 優勝
佐々木・大庭ペア : 準優勝
三好・黒木ペア : 第3位
富田・半谷ペア : ベスト8

男子 長江・中本ペア : 優勝
堀・原ペア : 第3位
水澤・村上ペア : ベスト8
舘越・岩崎ペア : 初戦敗退

《※広島で行われた試合のみを掲載しています。》

岡本・石川選手 日本選手権出場決定

5月19日(月)に、6月6日(金)～8日(日)まで福島県にて開催される第98回日本陸上競技選手権大会(兼アジア競技大会予選)の選手最終登録が行われた。中国電力陸上競技部からは岡本直己選手、石川卓哉選手の出場が決定した。

日本選手権への出場資格は各種目に設けられた参加標準記録の突破が必要であり、石川卓哉選手は5月10日(土)のゴールデンゲームズ in のべおか大会において10000mの標準記録を突破し、19日の最終登録に間に合った。

参加種目は5000mに岡本直己選手、10000mに岡本直己選手と石川卓哉選手が出場する。アジア競技大会の日本代表に選出されるには厳しい選考基準が設けられているが、どの参加者にも代表になる可能性があるため最後まで諦めず走りきりたい。

日本選手権(過去の記録)
2011年: 5000m7位(石川卓哉選手)
10000m5位(岡本直己選手)
2012年: 10000m6位(石川卓哉選手)



好調! 日本リーグ5連勝!

4月27日(日)に日本リーグ5戦目が天理市親里ホッケー場(奈良)にて行われた。対戦相手は、立命館大学ホリーズ。開始早々レッドスパークスがペナルティコーナーを獲得し、小野真由美選手のスイープがゴール右下に決まり先制。その後、西村綾加選手を中心に攻撃を続けた。しかし、サークルトップ付近からの早いリスタートからパスをつなぎ、最後はリバースシュートを打たれ、ゴールとなり、今期初失点となった。同点とされたレッドスパークスは、ここから猛追。得点チャンスを伺っていた加藤彰子選手が、笠原佳乃選手のシュートのリバウンドに飛び込み、リバースシュートを決め、再びリードを奪う。その後、加藤彰子選手が守備をひきつけ、サークルトップに出来たスペースに小野真由美選手が入り、加藤彰子選手からのパスでヒットシュートを放ち、ゴール下段に決めた。勢いがとまらないレッドスパークスは前半終了間際にもPCのリバウンドから金藤祥子選手の技ありプッシュシュートを決め、前半を4-1とした。後半に入ると、相手もパスをつなぎ攻めあがってくるが、朴がプレッシャーを仕掛け、相手に攻めさせなかった。さらに、西田のドラッグシュートがゴール下段に決まる。その後、レッドスパークスは選手交代を行い、試合終了間際にはPCから笠原がシュートを決め、6-1で試合を終えた。勝ち点15とし、ここまでで、レッドスパークスは日本リーグ5連勝。この調子で勝ち進んでほしい。



試合中の様子



ゴールデンウィークは球場で水遊び



5/3～5/5にかけて開催された「水遊びデー」の様子

カープホーム戦は5勝3敗で、現在も単独首位をキープしている。

5月9日(金)中日戦の試合前には、「MAZDA Zoom-Zoom スタジアム 広島 累計来場者数800万人達成記念の福祉車両贈呈セレモニー」が行われた。また、5月3日(祝)から5日(祝)対DeNA戦の3日間限定で、ゴールデンウィークのスペシャルイベントとして、「水あそびデー」が開催された。3日(祝)、4日(祝)は天候にも恵まれ、太陽の下、多くの子どもたちが集まった。ボーネルンドの「アクアプレイ」で、水の力や性質を学びながら、夢中で水あそびを楽しんだようだ。5日(祝)の午前中はあいにくの雨だったが、午後からは天気も回復し、たくさん子どもたちが楽しんだ。